

3月議会の

ご報告をお届けします

昨年誕生した自民党安倍政権は、13年度予算の中で、生活保護をはじめ、社会保障費の抑制・削減を狙う一方で、大企業への政策減税などの大盤振る舞いを行い、軍事費や大型公共事業費には気前よく上積みしています。笠岡市が弱者の立場に立ち、安全安心の市民生活をきちんと保障できるよう、温かみのある姿勢に立つことを期待して質問しました

TPP と市民の暮らしについて

食と農をはじめ、日本の産業と国民生活のあらゆる分野で大きな影響を与えます。農協全国組織はこれに強く抗議をしており、特に自給率の低下は亡国の政策とも言われています。国のあり方さえ変えかねない TPP 交渉に参加すべきではないと考えます。すでに F T A を結んだ韓国での国の主権侵害問題を紹介しながら、市長の見解、市民への影響、どんなアクションを考えておられるのかを尋ねました。

これに対して市長は、「国民生活全体

に係る大きな問題だ。国会

などでの試算を精査し、論議と情報の開示が必要と考えており、市民の視点に立った総合的判断が重要だ。」との見解「市民への影響は現時点で図ることは困難」と答弁しました。

「農業政策は市政の中でも基軸である」と3月議会でも強い想いを示された市長が、TPPについてもっと庁内学習をするなど問題意識を持って対処してほしいと感じました。



© Can Stock Photo - csp880679



生活保護基準の見直しと市民生活

安倍政権は今年8月から3年間で650億円の生活保護扶助費削減予定です。受給者の96%が影響を受けます。

また生活保護基準は最低賃金、年金、介護・保育・福祉サービスなどの給付、税金、保険料、利用料などの負担に連動しています。その引き下げは、

その引き下げは、

子供から現役労働者、高齢者まで、国民生活に甚大な影響を与えます。市長の見解、保護世帯、国民生活への影響など尋ねました。

これに対して市長は「市民福祉の向上のための生活保護制度の必要性を認識した上で、国の改正内容を見守っていきたい。保護基準をもとに算出される住民税の非課税限度額の変更や都道府県別の最低賃金の決定などにも影響する。市

民生活への影響を最低限にとどめ、市民福祉の後退にならないよう努めたい」と答えられました。

就学援助の打ち切り、市県民税や国保の課税とも連動しています。少なくない影響を生む生活保護基準の引き下げは見直すべきと声を上げるよう要請しました。提示した影響の一例は次のようなものです。(今まで非課税の方が→課税になると)

★医療費の自己負担限度額（70歳未満では）上限額が3万4000円から

8万100円+総医療費から26万7000円ひいたものに1%かけたもの

★介護サービス自己負担が上限2万4600円から3万7200円に

★保育料も 3歳未満児の場合、現行の6600円から

所得割、均等割り、すべて課税など税額によって保育料が上昇しますが、14000円から17800円、さらには19300円へと引き上げられます。

★非課税世帯でなくなって、対象外となれば就学援助の打ち切りとなります。

豊かな教育づくりを目指して

暴力、いじめ、不登校問題は、早期に解決しなければならない長年の課題で、近年県下の状況は悪化しています。暴力に対する見解・現状の学校教育の中で子供の意見表明権は生かされているのか・いじめのない集団作り・全国・県一斉学力テストの中止を求めて質問しました。

これに対し教育長は「教育の場で暴力は許されない。人権尊重、体罰の根絶について通知文を各校に通知し、徹底するよう指導した。わかる授業を工夫するなど5点を指導し、いじめの未然防止、早期発見、早期解決に努める。学力・学習状況調査は客観的なデータを得て教育施策に反映させていくため必要。」と答弁されました。議論をつくし、認識を深める過程がはっきり示されなかったの残念です。



12月議会で

鳥取大学医学部浦上克哉教授の25年以上にわたる認知症診療、研究の成果をもとに認知症の早期発見に努め、高齢者専用マシンを利用しリハビリも合わせての取



り組みを、高齢者比率の高い笠岡市でも取り組むべきと提案しました。「体操、サロンなど通じて予防対策は取り組んでいる」との答弁でした。認知症サポーターの多さでは他市に引けを取らない笠岡市の、次なるステップの構築を期待して引き続き提案を続けようと思います。(タッチパネル式コンピューターを用いて。)

あしあと

1月

5日 桃太郎杯 (毎年応援に行きますが、頑張っている現役選手やOBに会うのが楽しみです。)

9日 民商旗開き

10-11日 西部衛生施設組合視察 14日 成人式

19日 絵画展 (子供たちの力作が並んでいました。)

中央小の「ひとつのまとまり」(下)は目を引いたものの一つです。)



(迫力あった大将戦)



「しらゆり」ボランティア

22日 市職労旗開き

23日 おかみさん会「恵方巻き」

29日 中小業者決起大会 (全国の中小業者の皆さんが東京で国会要請と決起集会を行い参加しました)

30日 矢掛



2月

4-6日 長野・滋賀個人視察

10日 生涯フェスティバル「大黒踊り」

11日 カブトガニ博物館特別展示 (大人も子供も楽しめました)

13日 生き生きサロン (体力測定をしました。)

16日 「街づくり講演会」

19日 一部事務組合会議

24日 地域町内会新年会

3月 (3月議会)

2日 金浦会親睦旅行

2-4日 農協婦人部味噌づくり (初めて体験しました。とても大変な工程を

踏みます。皆さんに助けられ、出来上がりが楽しみです。)



3日 防災教室

5日 東日本大震災支援募金

21日 来年度予算に向け、日本共産党
笠岡市委員会対市懇談

15日 金浦中学校卒業式

17日 厳島神社初祭り

19日 金浦小学校卒業式

20日 菜の花フェスティバル (午後からあいにくの雨で大変でした。)

23日 新川保育所修了式

26日 3月議会最終日

28日 市民医療生協対市交渉 (医療生協のちみつな取り組みが行政とコラボしたら素晴らしい取り組みができるのにと感じました。)

お世話になりました

☆倉敷長浜笠岡線 (西大島) 海水に浸食されたのり面底の空洞部分を 25年度で 240メートルにわたって改修して頂けることになりました。

☆県道の路面修繕 (金浦笠信前)

☆樹木の根が張って凸凹になった路面改修。

☆駅前の傷みの激しいベンチ取り換え

☆石垣の崩れ改修 (吉浜)



(これで自転車、手押し車も安全に通行できます。)



☆大仙院前の橋タイルの不具合修繕

☆生江浜岬線歩道の沈みによる亀裂修繕

☆国道金浦橋の段差による振動なくすよう改修して頂きました。

お世話になった皆さん

ありがとうございました。

(石が崩れて水路がふさがるとの心配が寄せられていました。)